

【別紙】情報科学研究科

奨学金（財団）名称		公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金
推薦依頼数		大学院生 1 名
応募資格	専門分野	理工系 ※電気系、機械系、情報系、材料系、化学系、物理系又は数学系
	課程・年次	2026 年 4 月現在、修士課程 1 年次に在籍する者
	国籍・地域	なし
	日本語能力	日本語での日常会話が支障なくできる者 ※第二次選考面接は日本語で実施
	成績要件	指定なし
	その他財団が求める資格・要件	・経済的援助が必要な学生 ・他奨学金（国費を含む）の併給不可 ※貸与型奨学金は可

情報科学研究科 教務係への 提出期限	4 月 13 日（月） 15:00
応募書類 （必要書類）	<ol style="list-style-type: none"> ① 奨学金申請書（指定のもの）※写真貼付 ② 在学証明書（写） ③ 研究計画書（書式自由、A4 用紙 1～2 枚、ワープロ可） ※研究内容、卒業までのスケジュール、前期博士課程修了後の計画、目標を中心に日本語にて作成 ④ 指導教員の推薦状（指定のもの） ⑤ 住民票記載事項証明書 ※氏名、生年月日、住所、在留資格、在留期間が記載されたもの） ⑥ 成績証明書（学部） ※留学生課選考でも使用しますので、別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入願います ※母国語の場合、日本語訳添付 ⑦ 経済状況調書 ⑧ 【要提出】民間奨学金申請時の心得
情報科学研究科 教務係への 提出方法	①～⑧原本を教務係まで提出願います。

公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金
2026年度留学生向け 奨学生募集要項

【対象】

修士課程の1年次に在籍し、理工系(電気系、機械系、情報系、材料系、化学系、物理系又は数学系等)を専攻する留学生。

【募集人員】

貴大学から1名

【応募資格】

1. 学業、人物ともに優れている者。
2. 経済的理由により援助が必要と認められる者。
3. 2026年4月現在、修士課程の1年次に在籍する留学生。
4. 2000年4月2日以降に生まれた者。
5. 指導教員の推薦を受けられる者。
6. 日本語での日常会話が支障なくできる者。(第二次選考面接は日本語で実施)
7. 2026年4月以降他の奨学金を受給していない、また受給する予定のない者。なお、総額に貸与型奨学金は含みません。

【奨学金の額及び期間】

1. 月額10万円
2. 2026年4月分より2028年3月分までの2年間
(但し、2028年3月以前に修士課程を修了する場合は修了月までとする)
3. 奨学金は給付であり返還を要しない。

【応募方法】

1. 次の書類を提出すること。
 - ① 奨学金申請書(指定のもの)(写真貼付)
 - ② 在学証明書(写)
 - ③ 研究計画書
研究内容、卒業までのスケジュール、前期博士課程修了後の計画・目標を中心に日本語にて作成のこと。(書式は自由、A4用紙1~2枚、ワープロ可)
 - ④ 指導教員の推薦状(指定のもの)
 - ⑤ 住民票記載事項証明書(氏名、生年月日、住所、在留資格、在留期間が記載されたもの)
 - ⑥ 学部の成績証明書(日本語または英語以外で作成の場合、日本語訳添付のこと)

2. 応募書類は返却しない。

* 申請書類上の個人情報については奨学生選考以外の目的には使用しません。

【募集期間】

2026年4月1日から4月30日まで

【選考】

1. 第一次選考 大学内での選考後、書類を添えて当基金に連絡する。
2. 第二次選考 第一次選考を経て、大学より推薦された者を面接により当基金にて選考する。
面接は2026年5月以降、オンライン形式で実施。詳細は別途連絡。
3. 給付決定 6月中に最終決定し、大学を通じて連絡予定。

【奨学金の給付】

1. 原則毎月所定日に口座振込にて給付する。
但し、初回については2026年4月分迄遡及し2026年6月以降に給付する。
2. 次の場合は奨学金の給付を停止する。
 - ① 病気その他の事由により就学又は研究を継続することが困難な場合。
 - ② 指導教員より就学又は研究の継続が不適格と認められた場合。
 - ③ 学業成績・素行が不良な場合。
 - ④ 奨学金申請内容に虚偽が認められた場合。
 - ⑤ その他、奨学生としての名誉を傷つけたと認められるような行動をした場合。

【その他】

1. 奨学金給付中、研究内容の交流会（1年次）及び報告会（2年次）を実施する予定あり。
2. 奨学金給付中、住所変更および休学、留年、退学など変動が生じた場合速やかに連絡すること。
3. 奨学金給付中は定期的に在学証明や成績証明書の提出を求めることがある。

公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金・事務局